



竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校
学校だより
発行 校長 依田宏記
令和3年度 第7号
2021. 10. 6

次の目標に向かってSTEP-BY-STEP

第5波と言われた新型コロナウイルスによる感染症の拡大がどうか落ち着きを見せています。山梨県では9月12日を期限として実施された「まん延防止等重点措置」が予定通り解除され、その後全国に出されていた緊急事態宣言なども9月30日をもって解除されたところです。しかし、それらの措置が解除されたから安心だと気を緩め、対策を怠ってしまうと、またまん延を呼びかねません。現状を保っていけるように、注意する意識は継続させながら生活していきましょう。

さて、学校では9月末から10月初めにかけて、各学年の校外学習を予定していました。3年生と1年生は宿泊を伴いましたので、事前には保護者の皆様から心配の声もありました。それでも、対策へのアイデアを共に考えていただいたり、寄せていただいた不安に対して対策を講じたりすることで、何とか無事に実施することができました。保護者の皆様のご協力に心から感謝いたします。

令和3年度もちょうど折り返しを迎え、生徒たちはそれぞれ次の目標に向かって進み始めています。10月4日には支部新入大会に向かう運動部の1・2年生を全校で応援しようと、生徒会の主催で壮行会が開催されました。事前には3年生から1・2年生に向けた心温まる応援メッセージが玄関ホールに掲示され、部長会でも各部の決意表明が給食の時間に放送を使って行われるなど、気運の醸成にも余念がありません。夏休み後半から部活の練習が制限されていたので、もっと練習したかったというのが選手たちの本音かもしれませんが、一人一人が持てる力を発揮してきてほしいものです。そして、部活動では1・2年生を応援する立場となった3年生ですが、自分たちもいよいよ進路選択に向けて本格的に始動する時期となりました。10月5日には第1回教育課程到達度検査(教達検)が行われ、いつもにも増して真剣な表情で問題に向き合っていました。



掲示された応援メッセージ



「うさぎとかめ」のように、一步一步着実に歩を進めることが、大切なのでしょね(ちなみにわたしは「うさぎ型」で、勢いで

突っ走った後、飽きて放り出してしまうためちっともゴールにたどり着けません ^_^;)。また、古代ギリシャの哲学者であるプラトンの言葉にはこんなものもあります。「始めは全体の半ばである。」何かをする

には、始めることが一番大変で、始められてしまえば、もう半分終わったのと同じだという意味でしょう。物事を始めることの困難さは昔も今も同じようです。



掲示された応援メッセージ

ご家庭に感染症対策についてお願い

(引き続きご協力ください)

- ・登校前に、各家庭において検温と体調チェックを行い、発熱や咳、倦怠感があるなど体調不良時は登校させないようお願いいたします。「健康チェック表」の記入確認もお願いいたします。
- ・同居のご家族の皆様も、毎日の体調確認に取り組んでいただくとともに、心当たり症状がある場合には生徒の登校についてもご配慮ください(欠席扱いにはなりません)。
- ・生徒本人や同居のご家族が濃厚接触者に指定されたり、PCR検査を受けることになったときには、学校に連絡をお願いします。休日は甲斐市役所(055-276-2111)に、学校に緊急の連絡を取りたい」と伝え、学校名・学年・氏名・連絡先の電話番号のみ伝えてください。